

平成27年度 南あわじ市の教育方針

ふれあい共生の人づくり

— 知恵あふれ、ふるさと南あわじを大切に作る人づくり —

南あわじ市では、シンボルである木・花・音頭に触れることができる快適な環境と文化にあふれ、可憐な花を咲かせる日本水仙、黒松が群生する風光明媚な海岸、情緒あふれるふるさと音頭など市民の一体感を醸成しています。また、若人の広場公園、食の拠点「美菜恋来屋」のオープン、新庁舎での行政がスタートしました。

南あわじ市教育委員会では、国の第2期教育振興基本計画及び第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」を参酌するとともに、南あわじ市教育振興基本計画の評価と検証を行い、今後の方向性や具体的な取組を示す第2期南あわじ市教育振興基本計画（平成27～31年度）を策定しました。平成27年度の教育方針はこの基本計画に基づき進めます。

学校教育においては、変化の激しい時代を子どもたちが力強く生き抜いていく力が必要であり、自立して未来に挑戦する態度の育成を学びの基盤として、「次世代の人材を育てる教育」を施策の重点に掲げ推進していきます。基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、これらを活用する力を培い、確かな学力や学ぶ意欲、共生する豊かな心の育成をめざします。また、学びの原動力や推進力となる夢や目標を持つこと、それを実現しようとする意欲・態度を身に付けること、様々な困難に直面しても状況を主体的かつ的確に判断し行動する力を身に付けることが不可欠であり、これらを実現するため、未来に挑戦する態度の育成をめざします。さらに、これから起こりうるであろう南海トラフ大地震に備えての命を守る防災教育やふるさと南あわじ大好きっ子育成の取組を進めていきます。

社会教育においては、「活力と生きがいをはぐくむ教育」を施策の重点に掲げ、文化芸術の継承・発展・創造を担う人材の育成、子どもの文化芸術活動の充実など積極的に取り組みます。生涯学習社会のなか、学ぶ機会を充実させ、主体的な学びを支援し一人一人の豊かな自己実現を図り、共生の人づくりを推進します。

南あわじ市教育委員会
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会



次世代の人材を育てる教育

基本方針1 「確かな学力」の確立と自立して生きる力の育成

重点目標

- ① 調査・評価による実態把握に即した指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた多様な指導の充実を図る。
- ② 基礎・基本の確実な定着を図り、興味・関心を持って、主体的に学習に取り組む姿勢を培う。
- ③ 豊かな体験活動や課題解決的な学習を通し、思考力・判断力・表現力等の育成・向上を図るとともに、知的活動やコミュニケーションの基盤となる「ことばの力」を育成する。
- ④ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。
- ⑤ 教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む。
- ⑥ グローバル化に対応した教育を推進し、語学力やコミュニケーション能力を育成する。

基本方針2 「豊かな心」を育成する道徳・人権教育の充実

重点目標

- ① 郷土の特色を生かした豊かな体験を通して、ふるさと意識を深めるとともに、生命や自然に対する畏敬の念を育む。
- ② 自尊感情を高め、自己実現と共生をめざす人権教育を推進する。
- ③ 豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりを育む道徳教育と道徳的実践力を培う。
- ④ 郷土の先人の生き方等地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、ふるさと意識の向上を図る。

基本方針3 体育・食育活動を通じた「健やかな体」の育成

重点目標

- ① 運動に親しむ習慣や意欲を養い、体力・運動能力の向上を図る。
- ② 発達段階を踏まえた指導、安全の確保や休養の設定などにより、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
- ③ 健康で安全な生活を送るための基礎を培うとともに、家庭や地域と連携して食育の推進に取り組む。

全小学校に外国人講師と外国語活動支援員を派遣

5, 6年生の外国語活動を中心に、外国語活動支援員(英語が話せる日本人)を派遣し、担当教員、ALTと協力し、外国語活動の授業づくりを円滑にし、授業の充実を図ります。小学生のころからネイティブスピーカーの英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しんだりすることで、国際感覚を身につけることを目的に取り組めます。

防災教育の充実

- 自然災害や将来起こるであろう南海トラフ大地震に備え、避難訓練や地域住民の参加を得た防災訓練を行います。
- 全小学校の「自然学校」の中で、防災プログラムを実施します。

基本方針 4 安全・安心で、開かれた学校・園づくりの推進

重点目標

- ① 学校評価システムの充実を図り、地域に信頼される学校・園づくりを進める。
- ② 幼・保、小、中、高、大の連携を一層深め、家庭や地域との絆を強め、安全な環境で、安心して生活を送ることができるよう実践を進める。
- ③ 子どもの内面理解に基づく生徒指導の充実を図り、いじめなどの問題行動に的確に対応する指導体制を整備し、未然防止や早期発見、早期対応に取り組む。
- ④ 家庭・地域・関係機関との連携をより深め、自らの生命を守る能力や態度を育むため、地域の災害に備えた防災教育を推進する。

基本方針 5 教職員としての資質と実践的指導力の向上

重点目標

- ① 教職員としての高い使命感・倫理観を保持し、豊かな人間性の涵養に努める。
- ② 幅広い視点からICTを意図的・計画的に活用するなど、教育効果の向上をめざし絶えず研修を深める。
- ③ 社会の変化に対応した教育観を培い、教育の専門家としての感性豊かな実践的指導力の向上を図りながら、子どもに対する愛情と責任感を持ち、体罰に頼らない心の通い合う指導に努める。
- ④ 初任者をはじめ、若手教職員の研修を充実させる。

基本方針 6 遊びを通じた確かな「学び」を培う幼児教育の推進

重点目標

- ① 発達や遊びの連続性を踏まえた教育の充実を図る。
- ② 幼・保、小の連携及び交流活動を通して、円滑な接続を行う。
- ③ 幼児の直接的・具体的な体験活動を通し、伝え合う力の育成や自立と協同の態度を培う。

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

幼稚園、小中学校で支援

特別支援教育校園内委員会

- ・支援が必要な幼児、児童生徒の実態把握
- ・具体的な支援内容や方法の検討

特別支援教育コーディネーターが連絡調整に当たります

- ・校内の連絡調整
- ・関係機関との連携
- ・研修会の実施
- ・交流及び共同学習の推進

特別支援教育支援員の配置

行動面での不安定さや特別な支援が必要な幼児児童生徒への教育的支援

通級指導

学校生活支援教員の配置

市で支援

特別支援教育コーディネーターネットワーク会議

- ・各校園の情報交換
- ・支援方法の研修

就学指導委員会

幼児、児童、生徒の就学に関する指導

あわじ教育相談(毎月第2木曜日)

就学前5歳児健康診査(健康課)

特別支援学校や他の様々な関係機関と連携して、早期からの相談・支援体制づくりを進めます。

活力と生きがいをはぐくむ教育

基本方針 1 連帯社会の再生、家庭と地域の教育力の向上

重点目標

- ① 家庭の教育力の向上を図るため、学習機会の提供と子育て支援の充実を図る。
- ② 「地域のおじさんおばさん運動」等のネットワークづくりを活用して、子育て家庭への見守りや青少年の健全育成に努める。
- ③ 地域の連帯意識を高めるため、異年齢や異世代とのかかわりを通して、自主性や創造性・社会性を育む体験活動、学校支援活動の充実を図る。
- ④ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動や「あいさつ運動」を進める。

基本方針 2 体験を通して学ぶ伝統文化の香り高いまちづくりの支援

重点目標

- ① 伝統文化の継承を支援し、子どもたちの伝統文化への関心と理解を深めるとともに、発表の機会を提供するよう努める。
- ② 文化財の保存と文化施設の活用を図り、地域に密着した学習・情報拠点としてのサービス機能の向上に努める。
- ③ 市民の生きがいづくりを支援するため、ライフステージに応じた学習機会の充実や、学習成果を生かすことができる機会、情報の提供などに努める。



ちかくに **い**つでも **き**つという

ハート・ブリッジ・メンバーズ「地域のおじさんおばさん運動」

次代を担う子どもの健やかな成長を図るためには、子どもたちを温かく見守りながら豊かな心を育てようとする大人の輪を広げることが必要です。

日常のあいさつや声かけ・見守りなど、できることから子どもと大人のつながりを築いていきます。

基本方針 3 人権尊重の文化が根付くまちづくりの推進

重点目標

- ① 共に生きるまちづくりに向け、地域で起こる身近な人権問題に対し、正しい認識を培い、主体的な行動を促す人権学習を進める。
- ② 一人一人の個性が大切にされ、人権尊重の文化に満ちた社会の創造に努める。

基本方針 4 運動に親しみ体力の向上をめざした生涯スポーツの推進

重点目標

- ① 気軽にスポーツを楽しめるよう環境整備に努めるとともに、地域に根付く多様なスポーツ活動の推進を図る。
- ② 豊かなスポーツライフを実現し、体力の向上と地域コミュニティづくりに生かす。

基本方針 5 社会教育の指導者としての資質と実践的指導力の向上

重点目標

- ① さまざまな個人の要望や社会の要請に応える専門的指導者の育成に努める。
- ② 学校・家庭・地域の連携を支える指導者の育成やネットワークづくりを進め、地域の教育力の向上に努める。

夢プロジェクト

プロアスリートの方々を招き、講演会や競技の実技指導を行います。小中学生に努力する大切さや楽しさ、友達の大切さなどを感じてもらい、小中学生時代から大きな夢を持って生活してほしいという願いから開催します。



南あわじ市

学校教育



自然に親しむ (幼稚園)



音楽を楽しむ (幼稚園)



幼稚園・小学校合同防災訓練



環境体験 (小学3年)



自然学校 (小学5年)



トライやる・ウィーク発表会(中学2年)



外国語活動の授業 (小学校)



学力向上・少人数授業 (小学校)



いじめを許さない・生徒会活動(中学校)



郷土芸能部 (中学校)



キャリア教育・ものづくり大学(中学校)



小中連携・小規模校での学び
(沼島小・沼島中)

の教育

社会教育



人権サマーフェスティバル



人権サマーフェスティバル



子ども見守りパトロール



発掘調査



慶野松原の保存



学校支援地域ボランティア



ランニングフェスティバル



海洋スポーツ



アジア国際子ども映画祭



放課後子ども教室



やまの学園



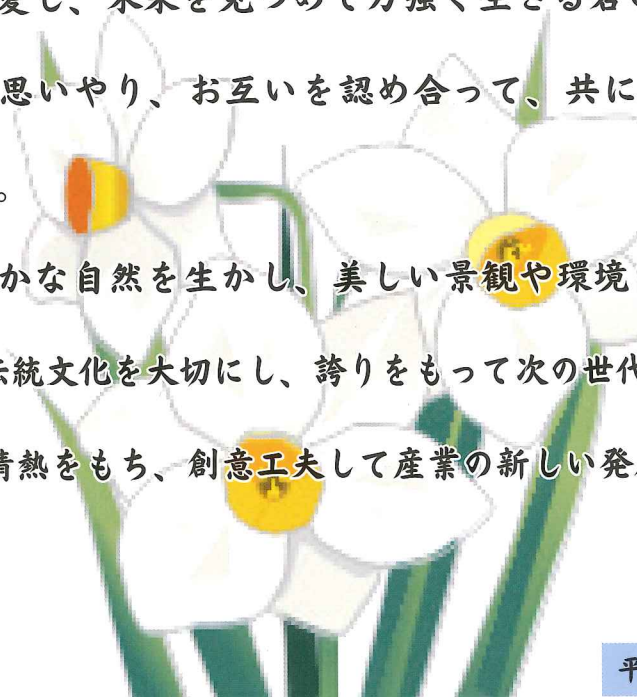
伝統芸能発表会



南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、薫り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたくしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切にし、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- ・人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます。
- ・周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく喜びをめざします。
- ・恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもります。
- ・歴史遺産や伝統文化を大切にし、誇りをもって次の世代に伝えていきます。
- ・仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます。



平成22年1月11日制定